



## 関西国際空港 国際線出発口「自動化ゲート」の設置について ～ ファストトラベル実現に向けた新たな取り組み ～

関西エアポート株式会社は、関西国際空港の第1ターミナルビルの国際線出発口（保安検査場前）において、自動化ゲートの運用を開始したことをお知らせします。

これは、当社が取り組んでいる「ファストトラベル\*」を一層促進するための取り組みで、出発口での搭乗券確認の手続きを自動化することで、よりスムーズな出発手続きを実現します。

これまでは、国際線保安検査場前で検査員が搭乗券をお客様からお預かりし、スキャナで読み込んで通過可否の判断をしておりましたが、これを自動化させ、お客様ご自身で搭乗券をスキャンし、ゲートを通じて保安検査場に入っていただく形になります。当ゲートの導入により、国際線出発口での運用がスムーズになるとともに、検査員の負担軽減も見込んでいます。また、非接触の運用につながり、感染症対策にも寄与します。

関西エアポート株式会社は、今後も最先端技術を積極的に導入し、空港の利便性向上に努め、快適で新しい旅の体験をご提供いたします。

\*ファストトラベルとは、IATA（国際航空運送協会）やACI（国際空港評議会）が提唱する、空港での利用者の手続きをよりスムーズにすることで効率的なサービスの提供を目指す取り組みです。

○運用開始日：2020年7月27日（月）

○設置数：計12ゲート

出発口1（一般入口：4ゲート、ファストレーン入口：1ゲート）

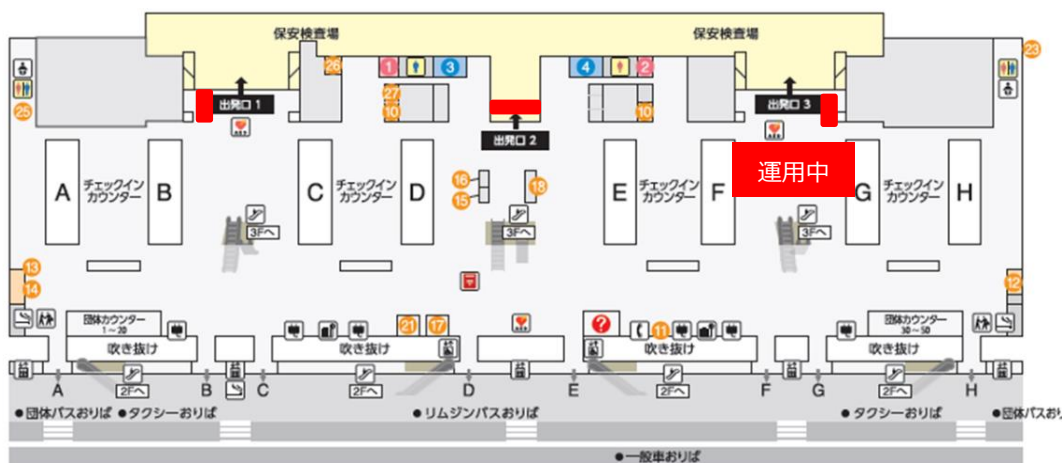
出発口2（一般入口：2ゲート）

出発口3（一般入口：4ゲート、ファストレーン入口：1ゲート）

※本日現在、出発口1, 2は運用停止中のため、出発口3のみ運用中



○設置場所：第1ターミナル4階国際線出発フロア 出発口1～3 ※出発口3のみ運用中



### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
企画・管理部 コーポレートコミュニケーションズ  
Tel : 072-455-2201

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports (ヴァンシ・エアポート) を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港 (KIX) および大阪国際空港 (ITAMI) の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港 (KOBÉ) の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

関西エアポート株式会社 (関西国際空港および大阪国際空港の運営)

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号 (登記上)	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社 (神戸空港の運営)

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界37カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、45空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するブラジル、カンボジア、チリ、コスタリカ、ドミニカ共和国、フランス、日本、ポルトガル、セルビア、スウェーデン、イギリス、そしてアメリカ合衆国の空港には、合計で250社以上の航空会社が就航し、2019年の旅客者数は2億5,500万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとしての専門知識を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして、空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設事業を行っています。

2019年の連結売上高は26億ユーロ、グループ全体の売上高は49億ユーロ (関連会社含む) に達しました。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構